

苦 齒 発 第 2 1 8 号

平成29年10月12日

苦小牧市長 岩 倉 博 文 様

一般社団法人 苦小牧歯科医師会

会 長 牛 丸 智 恵

苦小牧市における幼児期のフッ化物洗口の推進について

歯と健康との因果関係については、近年、大いに認識されてまいりましたが、苦小牧歯科医師会といたしましては、満4歳ころから14歳ころまでが丈夫な歯をつくるための重要な時期と捉えており、その丈夫な歯をつくる手段として、未熟な歯をフッ化物により保護することが効果的であると考えております。

苦小牧市においては、貴職のお力添えもあり、平成24年度からモデル事業として小学校2校においてフッ化物洗口を開始し、その後、段階を踏んで平成28年度において市内全小学校において実施する運びとなりました。

しかしながら、このフッ化物洗口は、生えたばかりの歯を保護することがより効果的であると言われております。

北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条例に基づく北海道歯科保健医療推進計画の重点施策として保育所、幼稚園におけるフッ化物洗口の推進も盛り込まれておりますが、少なからず費用負担が伴うことから、苦小牧市内においてはまだまだ普及、浸透されていない状況であります。

つきましては、次代を担う子供たちの健康維持という観点からも、苦小牧市として、この乳幼児のフッ化物洗口の推進に特段のご配慮賜りますよう要望させていただきます。